

3. アレキとピオーネに対する消費者の購入価格心理(情報)			
[要約] 消費者は、贈答用1kg箱のアレキが2,800円程度、ピオーネが2,300～2,400円程度を購入の上限価格と考えている。また、家庭消費用400gパックは、県外ではアレキの上限価格をピオーネよりも100～200円高い700～800円程度と考えているのに対して、県内では両品種とも550円程度を上限価格と考えている。			
研究室名	経営研究室	連絡先	0869-55-0546

[背景・ねらい]

果実販売価格の低下によって果樹産地の活力や担い手の生産意欲の低下が懸念されるとともに、果物消費量が減少するなかで産地間競争が激化している。そのため、産地では消費ニーズを的確に把握し、それに合わせた販売戦略の策定が重要になっている。そこで、消費者へのアンケート調査から、贈答用1kg箱と家庭消費用400gパックのアレキとピオーネに対する消費者の購入価格心理を把握し、販売推進上の参考に資する。

[成果の概要・特徴]

1. 贈答用の購入に対して消費者が「高い」と思い始める価格は、居住地に関わりなくアレキが2,800円程度、ピオーネが2,300～2,400円程度であり、両品種に400～500円の価格差があった。また、消費者に購入される可能性を持つ価格の上限は、アレキが3,300円程度であるのに対してピオーネは2,800円程度であり、両品種に500円程度の価格差があった(表1)。
2. 家庭消費用の購入に対して消費者が「高い」と思い始める価格は居住地で異なった。県内の消費者がアレキは560円程度、ピオーネは550円程度で「高い」と思い始めるのに対して、県外の消費者はアレキは700～870円程度まで、ピオーネは600～720円程度まで「高い」と思わなかった(表2)。
3. 家庭消費用に対して消費者は、県外では100～200円の価格差でアレキをピオーネよりも高級ブドウと捉えているのに対して、県内では同等に捉えていた(表2)。
4. 贈答用と家庭消費用に対する消費者のアレキとピオーネの購入意向は8割以上あり、両品種の潜在的需要は高かった(図1、2)。

[成果の活用面・留意点]

1. アレキとピオーネの産地が出荷先や形態別に消費者の購入手続きにつながる販売価格を考えていく上で参考になる。特に、家庭消費用400gパックについては、今後、積極的な県外出荷が重要になると考えられる。

表1 居住地別にみる贈答用アレキとピオーネに対する消費者の価格感度

単位:円/kg贈答箱

品目	居住地	心理的 0点	購入の可能性を持つ 価格帯	同左 価格幅	価格無関心 価格帯	同左 価格幅
アレキ	県内	2,303	1,338 ~ 3,268	1,930	1,821 ~ 2,786	965
	関西	2,289	1,227 ~ 3,351	2,124	1,758 ~ 2,820	1,062
	関東	2,195	1,005 ~ 3,386	2,381	1,600 ~ 2,790	1,190
ピオーネ	県内	2,001	1,154 ~ 2,848	1,694	1,577 ~ 2,424	847
	関西	1,844	951 ~ 2,736	1,785	1,397 ~ 2,290	893
	関東	1,922	927 ~ 2,917	1,990	1,424 ~ 2,420	996

注1) 2003年8～9月に山陽町(県内産地内)、岡山市(県内消費地)、宝塚市(関西消費地)、東京都港区(関東消費地)の4か所で1,050人の消費者を対象に実施した結果である。表2及び図1、2も同じ。

2) 心理的0点とは、「安くも高くもない」と最も多くの人が感じる価格点のことであり、購入判断尺度の原点になる価格を指す。

3) 価格無関心価格帯とは、「安くも高くもない(妥当な価格)」と人が感じる価格帯のことである。

表2 居住地別にみる家庭消費用アレキとピオーネに対する消費者の価格感度

単位:円/400g¹ツ

品目	居住地	心理的 0点	購入の可能性を持つ 価格帯	同左 価格幅	価格無関心 価格帯	同左 価格幅
アレキ	県内	466	274 ~ 658	384	370 ~ 562	192
	関西	566	298 ~ 833	535	432 ~ 700	268
	関東	689	323 ~ 1,055	732	509 ~ 872	363
ピオーネ	県内	450	255 ~ 646	391	352 ~ 548	196
	関西	493	277 ~ 709	432	385 ~ 601	216
	関東	567	257 ~ 876	619	412 ~ 721	309

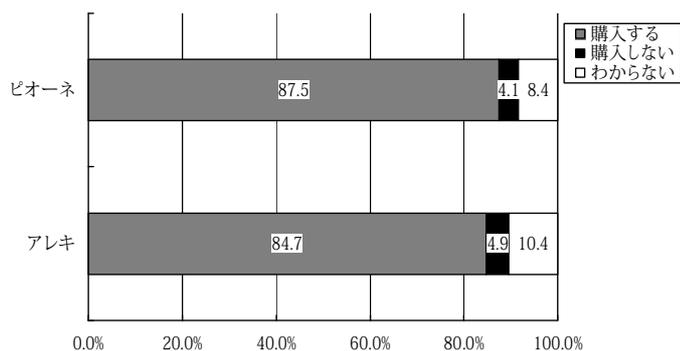


図1 贈答用アレキとピオーネの購入意向

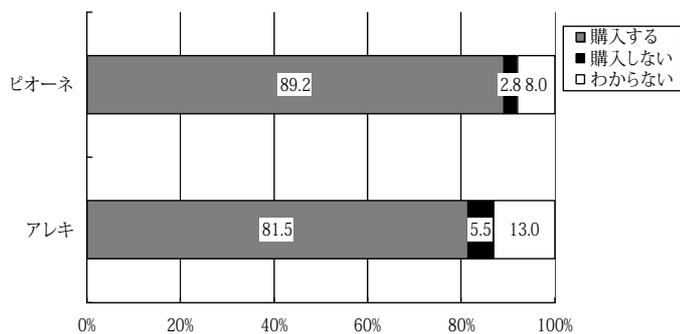


図2 家庭消費用アレキとピオーネの購入意向

[その他]

試験研究課題名：消費ニーズを捉えた高付加価値果樹生産・販売システムの確立

予算区分：県単

研究期間：平成14～16年度

関連情報等：なし